

## CM メタデータ入力支援ツールについて

このファイルは、Microsoft Excel を使った CM 素材交換メタデータの入力支援ツールです。画面上で入力した項目について、CSV ファイルとして保存することが出来ます。

v3.0 からは、Windows だけでなく、MacOS にも対応するように変更しました。v4.0 以降では、BS 4K 放送向けの「テレビCM 4K素材搬入基準」にも対応しました。

CM メタデータは、XML ファイルとして「CM ファイルベース納品」のメディア (XDCAM、P2 等) 内に格納する必要があります。またオンライン運用では、動画ファイルと同時に放送局へ送稿されます。一般的にそのファイルは、専用のメタデータツールを使って作成されますが、データの入力には2つの方法があります。

① 手入力

② CSV ファイルからの読み込み

この入力支援ツールから書き出した CSV ファイルを、専用のメタデータツールに読み込ませることで、テレビCM素材搬入基準で定められたCM素材交換メタデータ (XML ファイル) を作成することができます。制作広告会社、制作会社、ポストプロダクション間でのメタデータのやり取りが簡素化され、内容の確認も容易となります。

支援ツールを立ち上げようとする、マクロを有効にするかどうかの「セキュリティ警告」が表示されます。使用する際には、「マクロを有効にする」とか「コンテンツの有効化」を選択してください。

Excel のバージョンによって、このセキュリティの考え方が異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて設定して下さい。

v4.0 では、少数のプリントにも対応出来るように、「JAC、JPPA 新・統一帳票 推奨ルール」に基づいた、クレジットとケース用カードの出力に対応しています。従来から使われている XDCAM の CM 用ケースだけでなく、Xケースにも対応しました。

v4.1 では、一般社団法人日本広告業協会様発信の『CM素材のメタデータ登録における 20 文字オーバーの広告主名業界統一「入力ルール」について』に準じて修正しております。素材広告主名の欄に 20 文字以上を入力した場合、文字数表示枠が赤くなりますが、そのまま入力することが可能です。文字の級数は、枠に収まるように自動的に縮小されます。クレジット表示の素材広告主名欄は、30 文字を超えると 2 行表示となります。

v4.2 では、任意記載事項においても使用禁止文字のチェックを行うようにしました。

ケース用カードなどを印刷して用いる場合は、必ずコピー会社名記入欄に、作業を行った会社様の社名や連絡先を記入して利用下さい。

- Ver.4.xx が立ち上がると、以下のような入力画面が表示されます。

使用禁止文字判定      必須項目      CMコードにI(アイ)やO(オー)を入力した際の警告

CM 素材名に 【4】が 入力され ると、 項目名 とHD/ SD区 分が 変更さ れます	素材広告主名	A B化粧品		素材広告主 コード	123O	5	文字 数等 確認 枠  半角 文字 警告  使用 禁止 文字 判定	
	CM素材名	【4字】新SCSリンスⅢ 春キャン・しなやかヘアー 30秒A						30
	10桁CMコード	99AB	=	999ABC		10		
	素材秒数	30	秒	音声区分	ステレオ	2		
	商品名	新スーパー・クリア・さわやかリンス3						18
	制作広告会社名	(株)制作広告会社		ドロップダウンリスト選択		9		
	制作会社名	制作会社(株)		制作会社 コード		7		
	CM作品名	春キャンペーン・しなやかヘアー_北日本地域用A						28
	備考	キャンペーン②						7
	特記事項	このCMは、演出意図により黒味(0%)からフェードインしています						32
ダイナミックレンジ等	4K-HDR Long200					14		
平均ラウドネス値	-24.0					5		
素材種類区分	XDCAM	CM字幕有無	有り				CSV 出力 標準	
Timecode	DF	01 : 00 : 00 : 00	HD/SD区分	SD				

CM素材名に【字】又は【4字】が入力されると、表示が「無し」から「有り」に変わります

メタデータ作成情報		ポストプロダクション	
作成日	年 月 日	ファイル受領日	
制作会社名		署名	
ご担当者名			
連絡先電話番号			

ユーザー自由エリア

CSV  
出力  
SONY

- 背景がベージュ色になっている「素材広告主名」「CM素材名」「10桁CMコード」「素材秒数」「音声区分」等は必須項目です。
- 各項目は、クリックすると文字制限などの注意事項が表示されます。
- 半角で入力しなければならない項目はIMEがオフになり、全角入力が可能な項目は日本語入力のIMEがオンになります。
- 主な項目では、右側の「文字数等確認枠」に入力した文字数が表示されます。何も入力されていない場合は水色で警告し、入力制限を超えた場合はピンク色で警告します。
- CM素材名の欄では、素材搬入基準で使用規制されている記号などが入力されないように、使用文字コードの判定機能を付けています。文字の下側に三角の警告マークが出た場合は、その文字を使うことができません。また半角文字を使った場合は、「半角文字が使われました」という警告文が表示されます。

v4.2 から、商品名から備考欄、ユーザーエリアの項目に於いても、使用規制されている文字が使われた場合に、入力されたセルの色が変わり、文字数表示の左側に「禁止」の判定結果が表示されます。「Ⅲ」とか「②」といった、実際に現場で良く使われている文字の利用を避けることができます。また搬入基準では半角文字の利用が可能な項目であっても、一部では全角文字利用が推奨されているため、「半角」の警告が表示されるようにしました。

但し、素材搬入基準で使用可能とされている全ての文字コードをチェックしているわけではありませので、ご注意下さい。

- 10桁CMコードの欄では、1や0と混同するので、I（アイ）やO（オー）を使うことが出来ません。使用された場合は、入力したセルがピンク色に変わって警告します。素材広告主コード、制作広告会社コード、制作会社コードも同様に警告します。
- 素材広告主コードが空欄だった場合は、CSVデータに変換される際に、自動的に10桁CMコードの最初の4桁（広告事業者コード）が割り振られます。
- 素材秒数、音声区分、平均ラウドネス値、素材種類区分、Timecode（hhのみ）等は、入力枠をクリックすると、ドロップダウンリストを表示する矢印が表示されますので、リストから選択することができます。素材秒数は、選択肢に無い秒数も入力可能です。
- CM字幕有無は、素材名に【字】又は【4字】と入力すると、自動的に“無し”から“有り”に変わりますが、手入力することも可能です。但し、一度手入力した場合は、自動には戻せません。
- 素材種類区分やTimecodeの項目は、実際にメタを書き込むメディアやCM素材に合わせる必要がありますので、技術担当社（者）からの情報提供が必要です。
- BS 4K 放送向けの「テレビCM 4K素材搬入基準」に合わせた作業を行う場合は、CM素材名の冒頭に【4】又は【4字】と入力すると、ユーザーエリア1と2の項目名が、「特記事項」と「ダイナミックレンジ等」に変わります。「ダイナミックレンジ等」には、ダイナミックレンジ（SDR／HDR）と映像エンコード形式（Long200／Intra600）の間に半角空白をいれて記入する必要があります。右側の矢印から選択することで、指定された記述を順守出来ます。また自動的に、HD／SD区分の表示が“HD”から“SD”に変わります。（4K素材は、“SD”に設定するのが搬入規準です）  
また「特記事項」には、制作会社やポストプロから、放送局への伝達事項を記載することが可能です。このユーザーエリア1と2の利用方法は、4K素材搬入の際にだけ使うことが出来ます。
- グリーンの「CSV出力 標準」又は「CSV出力 SONY」をクリックすると、10桁CMコードをファイルネームとするCSVファイルが保存されます。保存されるディレクトリは、従来「マイドキュメント」直下でしたが、最初に開いたExcelファイルと同じ場所に保存するように変更しました。
- 10桁CMコードが変われば、異なったファイルネームとなりますので、連続して「CSV保存」をクリックすることが可能です。
- 枠外の5行は、ユーザー側が自由に使えるエリアとしています。入力情報の受け渡し確認等の利用が可能です。出力されるメタデータには反映されません。
- 株式会社朋栄が販売するCMメタツールシステムの「CM Master Maker」と、ブロードデザイン株式会社が販売するCM素材交換メタデータ作成ソフトウェアが、「CSV出力 標準」で書き出したCSVファイルの読み込みに対応しています。ソニービジネスソリューション株式会社が販売していたCM Metadata Editorが、「CSV出力 SONY」で書き出したCSVファイルの読み込みに対応しています。
- メーカーが用意するCMメタツールの仕様が変更になった場合には、読み込みができなくなる可能性があります。

「メタデータ作成情報」の欄は、このツールを活用する一例として、以下の運用スタイルを想定して作成したものです。

- ・ 制作会社でメタ情報を記入する際、メタデータ作成情報（オレンジのエリア）も併せて記入して戴く。
- ・ 制作会社は必要情報を記入した後、CSV ファイルではなくエクセルファイルをポストプロダクションに渡す。
- ・ ポストプロダクションは、制作会社からエクセルファイルを受領したら、プリントアウトして受領確認の署名をし、双方で保管する。  
（受領確認欄はポストプロダクション担当者による手書きを前提としているため、ファイルへの書き込みはできません）
- ・ ポストプロダクションは受領したエクセルファイルから CSV ファイルを作成し、搬入用ファイル原版作成に使用する。

※ プリントアウトした書面を管理する理由

制作会社からポストプロダクションへのメタデータの受け渡しは、様々な状況の中で、様々な形態によることが想定されます。この際、ポストプロダクションが、制作会社が受領したメタ情報を明確に特定できるようにしておく事は、業務の信頼性を確保するうえで、非常に重要なステップとなります。

ポストプロダクションが受領したメタ情報のプリントアウトした書面があれば、作業開始後、何らかの事情でメタデータに問題が発生した場合でも受領したメタ情報を書面で確認する事が可能となり、問題への対処を円滑に進めることができます。

CM メタデータ入力支援ツール v4.0 では、「JAC、JPPA 新・統一帳票 推奨ルール」に基づいた、クレジットとケース用カードの出力に対応しています。CM 用クレジットや納品プリントに関しては、各社各様の異なったシステムで作業されていると思いますが、推奨ルールへの対応が難しいという声も聞いています。このツールのタブを切り替えて使うことで、その手助けにはなると思いますので、活用下さい。使われるプリンターによって印字位置がずれるため、使用環境に合わせて微調整していただく必要があります。

#### 【入力】タブ

データ入力する画面で、メタも帳票も同じ入力画面を使います。

#### 【クレジット】タブ

データ入力された内容で、クレジットを作成します。

別途 Adobe Acrobat が必要です。

- 1) 印刷設定で Adobe PDF を選択して、出力する
- 2) Photoshop から、出力した PDF を開く
- 3) 「PDF の読み込み」画面が立ち上がるので、ファイルサイズの幅と高さで 1920×1080 又は 3840×2160 を入力して読み込みを実行する
- 4) 必要なファイル形式を選んで保存する

#### 【XDCAM 記録票】タブ

データ入力された内容で、XDCAM ディスクに添付する記録票とカードケースを作成します。

B5 サイズの用紙で印刷して、破線に沿って切り落として下さい。

「平均ラウドネス値」「XDCAM 機種」「Machine No.」「作業担当者」「録画日」については、このタブから記入下さい。

#### 【メディアシール】タブ

XDCAM 用に、「サンワサプライ LB-EM22」の利用を想定しています。21 面に切られているので、印刷後そのまま使えます。この用紙ラベルは、メディアを再利用する際に、糊あとなくキレイにはがすことができます。

メディアシールは、各社で使いやすい用紙に再レイアウトして下さい。

CSV データの項目表

メタデータ項目名	標準 CSV	ソニー CSV	必須/オプション	放送局参照項目
10 桁 CMコード-1 (広告事業者コード)	1	1	必須	○
10 桁 CMコード-2 (素材コード)	2	2	必須	○
CM素材名	3	3	必須	○
CM作品名	4	4	OP	
商品名	5	5	OP	
素材広告主名	6	6	必須	○
素材広告主名コード	7	7	OP	○
制作広告会社名	8	8	OP	
制作広告会社名コード	9	9	OP	
制作会社名	10	10	OP	
制作会社名コード	11	11	OP	
素材秒数	12	12	必須	○
素材種類区分	13	13	必須	
素材種類区分コード	14	14	必須	○
DF/NDF 区分	15	15	必須	
DF/NDF 区分コード	16	16	必須	○
HD/SD 区分	17	17	必須	
HD/SD 区分コード	18	18	必須	○
画角	19	19	必須	
画角コード	20	20	必須	○
音声区分	21	21	必須	
音声区分コード	22	22	必須	○
スタートタイムコード	23	23	必須	○
CM字幕有無	24	24	必須	
CM字幕有無コード	25	25	必須	○
登録日時	26	—	必須	○
更新日時	27	—	必須	○
備考	28	26	OP	○
ユーザーエリアその 1	29	27	OP	
ユーザーエリアその 2	30	28	OP	
ユーザーエリアその 3	31	29	OP	

## 著作権

このツールの著作権は、織田泰光と一般社団法人 日本ポストプロダクション協会が所有しています。

このソフトウェアに含まれる著作権情報を書き換えてはなりません。

また著作者の許可無く改変したり、CM メタデータの作成支援以外の目的で用いたりすることを禁じております。

## 免責事項

このソフトウェアの使用または使用不可によって、いかなる問題が生じた場合も、著作者はその責任を負いません。バージョンアップや不具合に対する対応の責任も負わないものとします。

この文書の内容およびソフトウェアの意匠、仕様は、予告なしに変更されることがあります。

## 商用利用

業務を行う上での利用に関しては、特別、使用に制約や費用は発生しません。

しかしツールの配布や導入による対価で利益を得る行為は禁じております。